

なんほろ 議会だより

地域おこし協力隊



第1回
定例会

新型コロナウイルス感染症対策を含む
一般会計及び特別会計予算

99億4,455万円を可決

ほかま
新たに着任した外間さん

3月 第1回定例会 審議結果



3月定例会は3月5日
に開会し、令和3年度町政
執行方針、教育行政執行方
針が演説されました。
その後、令和2年度各会
計補正予算 議案を審議
し、いずれも原案のとおり
可決。
また、令和3年度各会計
予算案と関連条例など9
議案を予算審査特別委員
会に審査付託しました。
2日目は5名の議員が
一般質問に立ち、執行方針
等に対する理事者の考え
をたどりました。
本会議は12日に再開し、
令和3年度各会計予算案、
条例制定などを審議し、い
ずれも原案のとおり可決・
採択し閉会しました。

令和2年度補正予算

○一般会計補正予算 (第6号)

歳入では、国庫支出金、
南幌工業団地用地売却収
入、誘客交流拠点整備事業
債の追加、減債基金繰入金
等の減額、並びに事務事業
の精査。

歳出では、誘客交流拠点
施設整備事業費、強い農業
づくり事業費の追加、役場
庁舎改修事業費等の減額に
よる。

◆補正額 7億1015万
3千円追加

○国民健康保険特別会計補 正予算(第4号)

歳入では、国庫支出金、
道支出金の追加、一般会計
繰入金、基金繰入金の減額。
歳出では、保険給付費の
追加による。

◆補正額 51万5千円追加

○病院事業会計補正予算 (第5号)

医業収益、一般会計繰入
金並びに事務事業費の精査
による。

◆補正額
・収益的収入 575万4

千円減額
・収益的支出 1394万円
減額

・資本的収入 202万5千
円減額
・資本的支出 195万6千
円減額

○下水道事業特別会計補正 予算(第1号)

歳入では繰越金の追加
等、一般会計繰入金、町債
の減額。

歳出では、南幌関連工事
負担金の確定による。

◆補正額 1825万8千
円減額

○農業集落排水事業特別会 計補正予算(第1号)

歳入では、一般会計繰入
金の減額等。

歳出では、施設管理に係
る委託料の減額による。

◆補正額 39万2千円減額

○介護保険特別会計補正予 算(第4号)

歳入では、国庫支出金、
支払基金交付金、道支出金、
並びに一般会計繰入金の減
額。

歳出では、基金積立金の
追加、保険給付費、地域支
援事業費の減額による。

◆補正額 5302万5千
円減額

○後期高齢者医療特別会計 補正予算(第2号)

歳入では、後期高齢者医
療保険料の追加、一般会計
繰入金の減額。

歳出では、後期高齢者医
療広域連合納付金の追加に
よる。

◆補正額 543万6千円
追加

○一般会計補正予算 (第10号)

大雪に伴う町道除排雪経
費の追加による。

◆補正額 1894万6千
円追加

条例制定等

○特別職の職員で非常勤の
ものの報酬及び費用弁償
に関する条例(改正)

国会議員の選挙等の執行
経費の基準に関する法律の
改正による。

○南幌町介護保険条例(改 正)

介護保険料を改正するた
め。

○南幌町学童保育条例(改正)
 保育時間を変更するため。

○南幌町国民健康保険条例(改正)
 新型インフルエンザ等対策特別措置法の改正による。

○南幌町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例(改正)
 ○南幌町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する条例(改正)
 ○南幌町指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営等に関する条例(改正)
 ○南幌町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する条例(改正)

営に関する基準等の改正による。

○南幌町都市公園条例(改正)
 石狩川改修工事における、なんぼろ親水公園用地の一部売却による。

財産の処分

処分の目的
 南幌工業団地工業用地分譲
 処分する財産 宅地
 処分の方法 随意契約
 処分価格 1億4700万円
 契約先 北海産業㈱

契約関係

契約の目的
 北海道公設光ファイバ整備推進協議会 高度無線環境整備工事 南幌町地区整備
 契約金額 2億7390万円
 契約先 東日本電信電話㈱

人事案件

○監査委員の選任

白倉 敏美さん(7区)

○公平委員会委員の選任

渡邊 修一さん(15区)
 川村 英俊さん(15区)
 高松 佳子さん(15区)

意見書

次の意見書を採択し、各省庁等へ送付しました。

○北海道へ高レベル放射性廃棄物を持ち込まない意見書
 提出者 志賀浦 学議員

○75歳以上の医療費窓口負担について原則1割負担の継続を求める意見書
 提出者 熊木 恵子議員



第1回 2月15日

第1回臨時会は、補正予算2件が提案され、原案のとおり可決しました。

○一般会計補正予算(第8号)

歳入では、新型コロナウイルススワクチン接種に係る国庫支出金及び財政調整基金繰入金の追加。
 歳出では、新型コロナウイルススワクチン接種に係る経費、並びに病院事業会計繰出金及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響に対する支援として行う地域経済対策に係る経費の追加による。
 ◆補正額 1888万8千円追加

○病院事業特別会計補正予算(第4号)

一般会計からの繰入れ及び町立病院における新型コロナウイルスナウイルス感染症予防対策として、遺伝子解析装置等の医療機器購入に係る経費の追加による。
 ◆補正額 資本的収入及び支出 496万2千円追加

第2回 3月30日

第2回臨時会は、補正予算1件が提案され、原案のとおり可決しました。

○一般会計補正予算(第11号)

歳入では、誘客交流拠点施設整備事業に係る国庫支出金及び地方債の減額。
 歳出では、誘客交流拠点施設整備事業費の減額による。
 ◆補正額 8億2315万円減額

質疑

議員 次回の地方創生拠点整備交付金申請時、今回同様に補正予算を先に組んで行うのか。
 副町長 申請自治体における予算措置が採択要件であったため、予算計上していた。今後も国との事前協議を行い、慎重に対応する。

議員 次回申請に向けて事業費の縮小、規模の見直しや周辺自治体との協力はどのように考えているのか。

町長 交流人口拡大を目指し、周辺自治体との地域間連携に取り組むが、施設整備に至った経過、町の状況等は変わらないため、目的に向けて関係自治体の理解を得て進めていく。

令和3年度各会計予算及び関連条例に対する討論

反対討論

～熊木 議員～

令和3年度南幌町各会計予算に反対の立場で討論を行います。

新型コロナウイルス感染症の影響により、感染症拡大防止策を講じつつ、予算編成においては、厳しい予算の中で各課は大変苦勞され努力されたことに敬意を払うものです。

各会計予算の中では、町民の生活に欠かせないデマンド型交通運行に見られるように「生活路線等交通対策事業」が巡回バスに代わって運行が始まります。高齢者在宅支援事業や、子ども子育て支援事業もきめ細かい施策に予算配分がされ、新型コロナウイルス感染症で経営が大変になっている飲食店などへの支援や、小中学校に在籍する児童生徒に対して「特別支援教育推進事業」など、本町の乳幼児から大人まで安心して生活するうえでの予算が編成されていると思います。

しかし、誘客交流拠点施設建設については、もっと広く町民に説明し意見を求める努力がされていないと感じます。全町民を対象とした説明会や意見交換会を実施して、いま何がなかっしかり町民の生の声を聞く必要があると思います。移住、定住、交流人口を増やし町を活性化するために集客施設が必要との意見もありますが、補助金に頼って建設したばかりに、町にとって負の遺産となった施設があった苦い経験を思い起こし冷静な判断をすべきではないでしょうか。

私は、今予算の全てに反対するものではありませんが、誘客交流拠点施設建設に多くを占める今予算は認めることはできません。地方自治体の役割は、そこに住んでいる地域住民の暮らしと福祉、健康、生活を守ることではないでしょうか。以上のことから私は令和3年度各会計予算に反対します。

賛成討論

～細川 議員～

令和3年度予算は、第2次行財政改革実行計画加速化プランの取り組みに基づき編成され、厳しい財政状況の中でも、町民の要望に沿ったメリハリをつけた予算措置であると考えます。

特に、誘客交流拠点施設整備事業は、本町における人口減少を抑制するため、交流人口を呼び込み、人口構造の変化を緩やかにする必要から室内遊戯場を核とし、町内外の多くの方が交流できる施設として整備するものであります。本町の人口、2045年には4,000人台にまで減少すると警鐘が鳴らされています。きた住まいるヴィレッジや移住促進事業などにより、近年少しずつ移住の成果が上がっている中、道央圏連絡道路の開通や日本ハムファイターズボールパークの

整備など、本町を取り巻く環境が大きく変わろうとしているこの機を追い風にして、町を発展させるための事業として推進すべきと考えます。

議会においては、施設建設に対する賛成の判断を昨年2月に行っています。昨年10月の町長選挙において、大崎町長は、誘客施設の建設を公約に掲げ、多くの町民の支持を受け当選されており、施設建設には多くの町民が賛成していると考えます。

わざわざ南幌町に遊びに行きたくなる、そんなコンセプトを持つ施設に期待し、30年後も子ども達のいる風景を実現させていくことが必要と考えます。

以上のことから、私は予算審査特別委員会に付託された、令和3年度一般会計及び6特別会計並びに関連条例に賛成をするものです。

賛否の公表

議員の活動に対して町民の評価が的確になされるよう情報の提供に努めるため、議案などに対する各議員の賛否を公表します。

令和3年第1回議会定例会

●報告第1号 令和3年度各会計予算及び関連条例の審査報告

賛成

内田恵子 佐藤妙子 西股裕司
志賀浦学 本間秀正 石川康弘
加藤真悟 川幡宗宏 細川美喜男

反対

熊木恵子

掲載されていない議案はすべて全員賛成議長は採決に加わっていません。

令和3年第1回議会臨時会

補正予算2議案について、議長を除く10名の議員が賛成しました。

令和3年第2回議会臨時会

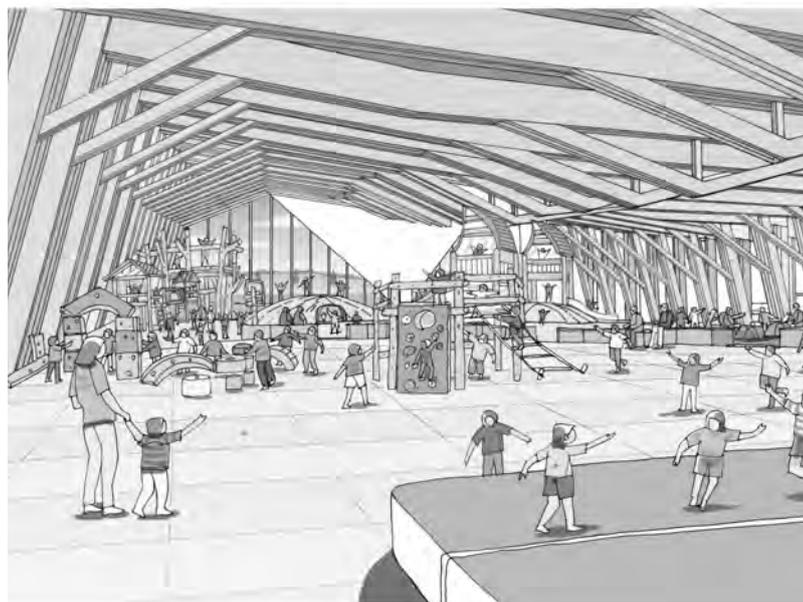
補正予算1議案について、議長を除く10名の議員が賛成しました。



志賀浦学 議員

Q 誘客交流拠点施設の感染症対策は

A 体温測定や顔認証システムを導入



誘客交流拠点施設のイメージ

志賀浦議員
令和3年度町政執行方針に対して代表質問します。
誘客交流拠点施設について、地域課題である子育て環境の整備と人口減少・人口構造対策として、子ども

たちが季節、天候を問わず安心して遊べる室内施設が令和3年度には着工されますが、そこで対策等を伺います。

①開設時期に新型コロナウイルスの流行が収束に至っていない場合に、閉館等の判断は指定管理者の判断になるのか。また、損失補填等は発生するのか。

町長

誘客交流拠点施設の運営は感染症対策として入館時の体温測定や顔認証システム等で施設運営が行われるよう事業者と協議を進めています。

①施設の休館は施設管理者が行いますが、町にも協議があると思います。損失補填については、指定管理者として不可抗力の場合は双方の協議に基づくこととなります。

志賀浦議員

②防犯対策で、事件事故があった時の対応と責任は。

町長

②事件事故の関係は基本的に指定管理者が担うものと考えています。

志賀浦議員

③館内のフリースペースは食事が可能と思うが、遊戯場や多目的ホールでの規制は。

町長

③遊戯エリアでの飲食は考えていません。また、多くの方が往來する場所は利用者マナーの啓発を営業前に十分に協議し、取り組んでいきます。

志賀浦議員

④屋外での使用規則などの周知看板の設置は。

町長

④室内外の看板啓発は必要に応じてやっていきます。

志賀浦議員

⑤子育て環境整備とあわせて、病児・病後児保育以外に考えている施策はあるか。また、地域おこし協力隊は活動範囲は限られているなかで、達成感をもって終えるよう、南幌に定住したいと思えるよう指導していただきたい。

次年度以降も福祉・教育・地域づくり等で受け入れる計画があるか伺う。

町長

⑤子育て支援策では、病児・病後児保育のほか、子育て世代住宅建築費助成事業の規模拡大を実施します。地域おこし協力隊については、観光振興に関わる特産品コーデイナーとふるさと納税に関わる2名を予定しています。また、次年度以降も、必要があれば人材を公募して配置したいと思っております。



石川康弘 議員

Q 健診受診率の向上のために
新たな施策を

A 個別の支援を中心とした
取り組みを継続



石川議員

本町は特定健診やがん検診をもとに予防医療の指導を行っているが、平成30年度策定の※データヘルス計画によると、受診率は目標値に達していない、がんの罹患者は依然として減っていません。

保健指導を行う上で住民の意識をいかに高めていくのが重要であることから2点伺います。

①コロナ禍で健康意識が高まっているとき、先進的事

例を参考に本町でも新たな事業に取り組むべきではないか。

町長

①本町の特定健診やがん検診受診率、重症化予防の取り組み状況などの保険者努力支援制度では、岩見沢保健所管内で1位、全道で32位と評価されています。また、がん死亡率は全国とほぼ同様ですが、死亡者は減少していないことから、各種検診の未受診者勧奨を継続していきます。今後も町民一人ひとりに

合わせた、きめ細かな支援の継続と切れ目のない保健事業を行っていきます。

石川議員

②健診も治療も受けていない40〜64歳の世代の割合が高くなっている。今年度は新型コロナウイルスの影響で、全国的に受診率が減っているというが、本町はどうなのか。また、健康ポイント事業はどれだけ利用されているのか。

町民の健康づくりへの動機付けを行うことで、無関心層を掘り起こし、健診の受診率向上につなげるべきと思うが。

静岡県藤枝市では、健康予防日本一を掲げて取り組んでおり、特定健診受診率は全国トップクラスとなっている。町民が、楽しみながら健康づくりに取り組める事業を行うことで、健康寿命の延伸や医療費の抑制に反映するのではないか。

町長

②本町としては、個別の支援を中心とした取り組みを継続し、先進的事例も検討したいと思っています。

保健福祉課長

本町では、コロナの影響で健診受診者は100名程



健康ポイント事業で付与される
南幌町健康チケット

度減少すると見込まれます。令和元年度は40〜64歳の世代の方に、看護師と保健師、国保の担当者が、700件の訪問活動を行い、約1割の方が初めて受診してくれました。今後も顔の見える活動を続けてまいります。

住民課長

健康ポイント事業は、令和元年度で616名に配布し86・2%の利用となっています。

※データヘルス計画「医療費、データや健診情報等のデータ分析に基づいて、PDCAサイクルで効率的・効果的な保健事業を实践するもの。」

Q 災害時に避難所は機能できるのか

A 自主防災組織の設立に向けた取組に努めます



西股裕司 議員

西股議員

令和3年度の町政執行方針において、安全安心に暮らせる環境づくりを進めるとあります。

災害対策には色々なことがありますが、今回は避難所が機能できるかについて質問します。

①南幌町が指定する9カ所の避難所は、町所有の施設を中心に設定しているが、令和3年2月1日現在で、3475世帯、7436人の人口に対し、収容施設の定数はどのようになっているのか。

町長

①福祉避難所である保健福祉総合センターを除く9施設における収容可能人数は、全町民の約9割です。新型コロナウイルス感染症が収束しない場合においては、感染防止対策により収容可能人員は減少するため、指定避難所以外への避難も必要となることから、町民への適切な情報提供を行います。

西股議員

②災害時、現在の町職員数で避難所の運営をしていくことは難しいと思える。本



D.Oはくの様子 (改善センター)



非常時用簡易段ボールベッド

年度は、防災意識の向上を意図した学習会を行うとあるが、各地域へ出向き、町民との対話を通して地域との密なる関係を構築し、避難所の運営に協力してもらう考えは。

町長

②避難所の円滑な運営のためには、町職員はもとより被災者、ボランティアなどの連携による自主的な運営が重要です。町民を対象とした防災学習会や出前講座などを通じ、防災意識の向

上と自主防災組織設立に向けた取組に努めます。

西股議員

③町広報において防災意識を高める特集記事を掲載し、防災についての啓蒙をしている。また、避難所運営のシミュレーションとして、D.Oはぐを取り入れ実施しているが、自主防災組織を設立するなど、安全安心なまちづくりのため、もう一歩進んだ避難所の運営を検討していただきたい。

町長

③町民の防災意識の向上を目的として、防災フェスタやD.Oはぐなどを実施していますが、今後は防災学習会において避難所の実践的な運営などの訓練を実施します。

自主防災組織は、町として当然設立を目指しているものですが、まずは地域との関係構築などを行うなど段階的に進めていきます。



熊木恵子 議員

Q 合葬墓についての意向調査を

A 実施する考えはないが
他市町村の動向を注視していく

熊木議員

平成30年第1回定例会で「今後の墓地管理について」質問しました。高齢化に伴い墓地の管理ができなくなってきた方や、遠方にあるお墓の管理に悩まれている方、お墓の継承者がいない方など近年深刻な問題となっています。

空知管内の自治体でも公営の合葬墓、合同墓とい



屋内合葬墓のイメージ

た形で永代供養の新しい形が注目されており、設置に向けて検討する自治体が増加しています。合葬墓設置についてアンケート調査を行った自治体では「合葬墓が必要」と答えた方の割合は67%から85%と回答しています。少子高齢化を背景に合葬墓の要望は増えていくと思います。

早急に町民アンケートを実施し住民ニーズを把握する必要がありますと考えますが。

町長

公営の合葬墓や合同墓については、近年の少子高齢化の進行や核家族化、継承者の家庭事情等から、収骨の管理や方法も多様化しており、このような社会情勢の変化に伴い、設置する自治体が道内でも増加していることは承知しています。

意向調査については実施する考えはありませんが、将来的に検討すべき課題であると認識していることから、他市町村の動向を注視してまいります。

Q

誘客交流拠点施設建設には多くの町民の合意が必要ではないか

A

広報誌等で情報発信をしてオープンに向け進めていく

熊木議員

子育て世代を中心とした交流人口を呼び込むため、町内外の多くの方が交流できる施設として令和4年5月のオープンに向け建設工事を進めていくと執行方針で述べています。

私はこれまでの質問で、全町民の意見を聞く必要があり懇談会や説明会の開催を求めてきました。しかし、公平性に疑問を感じる意向調査にとどまり、昨年10月のシンポジウム以降、建設ありきで計画が進められています。町としては、町広報誌に掲載し町民に情報提供しているといいますが、9億円余りをかけて整備し、今後の維持管理費を考えると、このまま進めるべきではないと考えます。

コロナ禍で人と人との密が心配されます。全町民、各年代の多様な意見・要望を聞き町民の多数が賛成となるまでは、建設の凍結をすべきと考えますが。

町長

昨年2月の議会全員協議会において、建設に対する賛成の判断をいただき建設に向けて取り組みを進めています。町民への説明やご意見をいただくために、町広報誌やホームページによる情報発信、子育て世代へのヒアリングなどを実施しています。

引き続き町民の皆様からご意見をいただき令和4年5月のオープンを目指し、施設の実施設計、建設工事を進めていきます。



加藤真悟 議員

Q 誘客交流拠点施設の意義と考えは

A 「観光周遊整備計画」を策定し
町内での周遊に繋がるよう取り組みます

加藤議員

誘客交流拠点施設の建設に向け、一番の目的である施策として、将来南幌に移住してくれる人や現在居住している人のために、町の雇用創出・商店街の活性化・住環境整備などの施策を模索し、住民目線で優先順位を考慮し、将来に誇れる施設であってほしいと思うところです。

いて伺います。

町長 ①道央圏連絡道路の整備が進んでいるが、南幌町を目的に来る人や、立ち寄りたいたい町にするため誘客交流拠点施設は、南幌町をアピールする大きな核となる有効な施設になる。どのような方法でより多くの人を呼び込もうとしているのか。

ポスター・リーフレットの作成、情報誌の広告掲載、ラジオ番組によるPRやイベントの開催によるPRやイベントの開催によるPRやイベントの開催によるPRやイベントの開催によるPRも行われる予定です。

町長 ③施設整備により、中央公園を中心とした周辺地域の人の流れが変わることが想定されるため、商業施設の誘致をはじめ、商店街、観光施設の周遊にも繋がることから、商工振興と地域の活性化が図られるよう商工会などと連携していきま



誘客交流拠点施設の外觀イメージ

加藤議員

②誘客交流拠点施設を核に、一番の目的である若い世代の移住・定住に力を注いでいくと思うが、子育て世代住宅建築費助成事業や住宅リフォーム等助成事業など住環境整備の支援、拡充をすべきと思うが。

町長

②子育て世代住宅建築費助成事業は、美園地区全域を対象として事業規模を拡大して実施します。住宅リフォーム等助成事業は、平準的に継続するために一定の上限額を設けて事業を実施する考えです。

加藤議員

③交流人口増加などで商店



感染症対策により着席したまま行う一般質問の様子

予 算 審 査 特 別 委 員 会

予算審査特別委員会を、3月9日、10日、11日に開催し、審議の結果、令和3年度各会計予算案（一般会計・国民健康保険特別会計・病院事業会計・下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計）及び関連議案は賛成多数で「可決すべきもの」と決定し、本会議で報告しました。委員会での質疑を要約して掲載します。

総務費

委員 【庁舎等管理経費】

役場告示板の更新はどこに設置するのか。また、庁舎玄関改修工事は、令和2年度の工事に含まれなかったのか。

総務課

公布する場所は条例で決まっており、役場前に設置している告示板の更新を行う。庁舎玄関は外構部分で補助の対象外。今回、入り口部分の床タイルが剥がれているため改修工事を行う。

委員 【生活路線等交通対策事業】

オンデマンドバスで使える



新しく導入されるオンデマンドバス

回数券や年間パスポート作成の考えはあるか。また、事前に町民に披露する事は考えているのか。

まちづくり課

キャッシュレス決済と高齢者の利用も考え、現金の併用を考えているが、回数券や年間パスポートの作成は考えていない。8月にモニターツアー、9月にプレ運行を行う計画としている。

委員 【協働まちづくり推進事業】

この事業が住民に対して、あまり広まっていない。使いやすくする新たな考えは。

まちづくり課

行政区や町内会の既存の三世代交流などのイベントでも、地域担当職員がコーディネートし、食育等を取り入れることで対象事業となるため、活用促進に向けPRに努める。

委員 【子育て世代住宅建築費助成事業】

町内在住者への補助額を増やしてはどうか。またボールパークなどの影響により、移住者が増えた場合は助成額の増額補正等するのかが。

まちづくり課

補助金の町内在住者への増額は行わない。移住者が増え、予算上限を超えた場合は補正で対応したい。

委員 【エリアマネジメント推進事業】

トライアルイベントの計画をしているが、どのようなことを行うのか。

まちづくり課

体験ツアーやサイクリングなどを企画し、南幌町に来てもらうことを検討することとし、企業グループと協力してPRをしていく。

委員 【防災対策事業】

防災士の養成を行うところがあるが、その内容は。

総務課

防災の指導できる人を養成するため、北海道地域防災マスターや防災士の育成に努め、防災力の向上を図る。

委員 【学生支援推進事業】

新規で行う学生支援プロジェクトの内容は。
まちづくり課 全国初となる事業で、ふるさと納税を活用して学生等を支援する内容となっている。田舎活性化協議会を通じて学校を含め

多くの人に知ってもらうよう周知していく。

委員 【ふるさと応援寄附事業】

令和2年度ふるさと納税の寄附金額が大幅に増えているが、令和3年度はどのようにに考えているのか。

総務課

返礼品のうち、南幌産米のゆめぴりかの定期便や「ピュアホワイトとあまいんです」のセットが好調だった。令和3年度も数量を確保し寄附金額を伸ばしたい。



数量限定の人気商品
ピュアホワイト10本/あまいんです10本

委員 【企業誘致推進事業】

企業誘致推進について新たな工業団地を造成する考えは。
まちづくり課 工業団地を



予算審査特別委員会の様子

造成するということではなく、企業を誘致する事業用地として南16線西10番地の未造成地9分を検討している。雇用と住環境の調和のとれたものになりたいと考える。

【委員】 【賦課徴収経費】

町税等をスマホ決済する場合の手数料は町で負担するのか。また、クレジットカード決済の導入は検討したのか。

【委員】 1件58円の手数料を町が負担することになる。クレジットカード決済は収納率が悪くなった場合に導入を考えなくてはならないと考えている。

民生費

【委員】 【高齢者在宅支援事業】

高齢者宅の除雪について、委託先はどのようになっているのか。

【委員】 委託先は高齢者事業団。ドーザーの雪は道路維持組合に依頼している。

【委員】 【保育所等運営補助事業】

4月以降の保育所への入

所希望者への対応は。
【委員】 保健福祉課 昨年は希望者78名で全員入所している。4月以降の希望者も調整して入所できるようにする。

【委員】 【病児・病後児保育事業】

病児・病後児保育事業の内容は。病気治りかけの子どもを受け入れは可能か。

【委員】 町立病院・保健福祉課 病院一階に新たに設置するもので、病気で保育が困難な児童を一時的に病院で保育し児童の健全な育成を図ります。感染症の内容にもよるが医師の判断にて、病気治りかけ時にも利用できる。

衛生費

【委員】 【新型コロナウィルス感染症対策事業】

稲穂町内会や川向地区の対応として、ワクチン接種会場をあいくる以外で実施の考えはないのか。また、新型コロナワクチンの接種後、インフルエンザワクチン等を接種しても問題はないのか。

【委員】 保健福祉課 ※アナフィラキシーショックの対応やワクチン保管用の冷凍庫の関係



町立病院内の病児・病後児保育室

から会場はあいくる1か所と考えている。なお、老人福祉施設や障がい者施設へは出向いてワクチン接種を予定している。ワクチン接種後、約2週間他は他のワクチン接種をしないように指導する。
※アナフィラキシーショックはアレルギーの原因物質が体内に入ることによって、血圧の低下や意識状態の悪化が出現する状態。



ファイザー製ワクチン用 超低温冷凍庫

【委員】 【母子保健事業】

視覚スクリーニングではどのような機器を導入するのか。

【委員】 令和3年度新規事業で乳幼児健診時に遠視や斜視等をスクリーニングできる機器を導入する。
※スクリーニング検査は病気である可能性を探る検査

農林水産業費

【委員】 【食育活動推進事業】

小中学生を対象とした食育実践はどのように行うのか。

【委員】 【産業振興課】

令和元年度からの3か年事業でこれまでパンフレット作製、レシピ本作製と実施しており、今年度は道内で活躍しているシェフを招き事業を展開する予定としている。

委員 【地域材活用推進事業】

道産木材を使った道具箱を作成し、児童に配布するに至った経緯は。

産業振興課 森林環境譲与税を活用した事業で、木の文化にふれあう木育活動として、道産の杉を使った道具箱を小学1年生に贈り、6年間使ってもらうことで地域材の利用促進・普及啓発につながると判断した。



小学1年生に配布される道具箱

委員 【農業振興経費】

将来的に労働力の確保が必要になると思われるが、外国人労働者や研修生の受入について、町は検討しているのか。

産業振興課 JAでは、2

年前から外国人労働者の受入を検討しており、セミナー等に参加している。今後もJAと連携し、労働力確保に向け検討をしていく。

商工費

委員 【空き店舗活用支援事業】

町内にはない飲食店の誘致や魅力のある募集を商工会と連携してやっていただきたい。

産業振興課 現在空き店舗は二合半ビル2件、中央通り1件の3件の空き店舗があるので、引き続きすべて埋まるように進めたい。

土木費

委員 【公園長寿命化改修事業】

中央公園大型すべり台はどうなるのか。

都市整備課 使用禁止しているすべり台は、令和4年度改修工事に向けて今年度、実施設計を行う。

委員 【住宅リフォーム等助成事業】

申し込み決定は先着順なのか。



中央公園大型すべり台

都市整備課 平成27年から実施の事業で7年目になる。4月の1か月間を受付期間とし、受付時に抽選を行い、番号の若い順から予算の範囲までが対象となる。

委員 【町道管理経費】

西8号排水路転落防止柵改修工事は計画的に進んでいるのか。

都市整備課 昨年度、現地の再調査を実施し、今後は調査内容に基づき改修を行う。

教育費

委員 【中学生国際留学プログラム事業】

国内のブリティッシュヒルズ（福島県）を選定した経緯は。

生涯学習課 教育委員会において国内の英語学習環境の情報を精査して、より安全・安心に語学研修ができるかと判断し決定した。

委員 【トレーニングルーム整備事業】

スポーツセンタートレーニングジムでの独自の取り組みは。

生涯学習課

今年度クロストレーナー器具を導入する。入室を6人までに制限し、スポーツ指導員が希望者に対し個別メニューを作り運動指導を行っている。

委員 【学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業】

児童生徒一人1台の情報端末がタブレットになった経緯、セキュリティソフトの利用料金は。また、各世帯のインターネット環境は把握しているのか。

生涯学習課 Windows, iPad, クロームブックの中からセキュリティなどのアップデートに係る先生の手間を考慮してクロームブック

を選択した。札幌市、江別市も同様である。

インターネット環境は小学校で40件、中学校で14件がインターネット環境なしとなっている。その家庭に対してはルーターをレンタルすることにしている。

公債費

委員 【地方債元金償還事業】

経常収支比率が90%を超えている状況で償還元金は減ってきているが、借入残高や公債費の今後の流れ、財政運営への影響や経常収支比率はどのように推移していくのか。

総務課 令和2、3年度で借入残高は庁舎改修、長幌第2浄水場建設、誘客交流拠点施設の関係で増えることとなる。

残高のピークは令和3年度の76億円。返済額は横ばいとなり令和10年度がピークの7億円となる。

起債借入は交付税参入率を留意しており、今後の財政運営には影響を及ぼさないものと考えている。

議会の動き

全員協議会

- 1月28日
 - 病院の経営状況について
 - 新型コロナウイルスワクチン接種の実施について
 - 第8期介護保険事業計画について
 - 第4期障がい者福祉計画、第6期障がい福祉計画、第2期障がい児福祉計画について
 - 第2期食育推進計画について
 - 第2次行財政改革実行計画（加速化プラン）について
 - 子育て世代住宅建築費助成事業について
 - デマンド型乗合タクシー運行事業について
 - 学生若者支援プロジェクトについて
 - 誘客交流拠点施設整備について
- 2月15日
 - 町立病院の医師について
 - 新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金

(第3次) について

- 誘客交流拠点施設基本設計（中間報告）について
- 高度無線環境整備推進事業（光ファイバー整備）について
- 新型コロナウイルス感染症対応について
- 3月26日
 - 誘客交流拠点施設整備について

委員会活動

総務常任委員会

- 1月22日
 - 書面懇談会における提出意見の確認及び調査について
- 全員協議会提出案件の調査について

産業経済常任委員会

- 1月22日
 - 書面懇談会における提出意見の確認及び調査について
- 全員協議会提出案件の調査について

3月30日

- 書面懇談会における提出意見の確認及び調査について

議会運営委員会

- 2月26日
 - 定例会の運営について
- 3月12日
 - 議会評価提言者について
- 南幌町まちづくり特別委員会
 - 1月15日
 - 議会報告懇談会について
 - オンライン会議について
 - 2月15日
 - 書面による町民の声について
 - オンライン会議について
 - 2月24日
 - 町政執行方針の質問のとりまとめについて



オンラインセミナーの様子

第2弾 議会報告懇談会意見集約

南幌町議会で例年実施している議会報告懇談会については、コロナ禍の影響により2回目の開催も書面により実施しました。町民皆様から議会に対していただいた意見について集約してお知らせします。

今後、これらの意見を町議会の中で協議・検討させていただきます。

◆意見募集期間 令和3年2月1日～28日 ◆意見総数 8件

項目	要望
①まちづくりに関する事項	・町内会、班体制の見直しについて ・誘客交流拠点施設の建設決定までの経過について ・誘客交流拠点施設の建設反対
②交通に関する事項	・江南橋の街路灯について ・なんぼろ温泉への案内看板を増やしてほしい ・きらら街道の整備を早くしてほしい ・国道337号線の冬道改善について ・札幌への交通網を考える
③生活に関する事項	・新型コロナウイルスワクチンの接種場所について ・ごみ袋の値上げについて ・高齢者世帯の除排雪について
④教育文化・福祉に関する事項	・市街地に住む小学校低学年のスクールバスの乗車について ・南幌高校での特色ある教育について ・合葬墓をできるだけ早く作ってほしい
⑥議会に関する事項	・議会開催時のビデオ撮影、日の丸掲揚について ・町民の声を聞くため、議会報告懇談会などを適切な時期に開催してほしい

町議会評価提言者が決定！！

(敬省略)

南幌町議会基本条例第12条(提言者組織の設置)に基づき、議会だより2月号において募集をしていました南幌町議会評価提言者10名が決定しました。

議会では、町民参加と町民からのご意見等を議会の運営等に反映させ、議会の円滑かつ民主的な運営をしていくための活動として、議会・委員会を傍聴しての意見や議会だより・議会ホームページに関する意見、また議員との意見交換会に参加をしていただくこととなります。

今後とも宜しくお願い致します。

	氏名	行政区
1	丹藤 修	西町
2	大内 孝行	15区
3	加藤 政一	中央
4	城地 真吾	9区
5	米田 昌樹	6区
6	大西 良子	15区
7	橋本 壮吉	北町
8	川上 裕一	西町
9	宮寄 綾香	北町
10	永岡真佐子	東町

議会だより表紙の方を紹介します



私のまち・ひと・しごと

地域おこし協力隊員 ほかも さだはる 外間 貞治 さん 43歳(6区)

本町の観光情報の収集発信や観光資源の利活用などに取り組む「地域おこし協力隊員」として4月1日からビューローで勤務する外間さんを紹介します。

☆自己紹介

南幌町の皆さん初めまして、沖縄県出身のほかも さだはる外間貞治と申します。高校卒業後に上京し、音楽活動をしていました。その後、六本木でライブハウスとライブバーを運営してきましたが、昨年の4月より家族で北海道に移住して丸一年を迎えました。

南幌町にお役に立てるように精進しますので、どうぞよろしくお願い致します。

☆地域おこし協力隊に応募したきっかけは？

東京で培ったコミュニティーや経験を活かして、新天地で喜んでもらえるような事にチャレンジしたく応募させていただきました。北海道に移住してきて昨年5月から10月まで農業、11月から翌年3月までは除雪。今まで経験したことのない北海道ならではの仕事に従事しながら次のステップを考えていた時に、地域おこし協力隊員の募集を知り、『これだ!!』と力がみなぎる感覚を覚え、次の日には南幌町役場に出向き応募しました。

☆今後の意気込みや心掛けようと思っていることは？

町民の皆さんとのコミュニケーションをしっかりとって、南幌町の良い所を更に発展させていきたいです。南幌町にとって何が求められているかを丁寧に学びながら何事もまず行動して、しっかり結果を出せるよう努めます。

(細川)

なんぼろ議会だより

令和3年5月1日 第154号

〒069-0292

空知郡南幌町栄町3丁目2番1号

TEL011-378-2121

発行/南幌町議会

編集/議会広報特別委員会

(西股・内田・石川・加藤・細川)

印刷/山東印刷(株)

穏やかに春の陽気が北海道にも訪れ、自然の息吹を感じる日が多くなってきました。今年も豊穡の年であることを心よりご祈念いたします。

議会は第一回定例会が無事終わり、審議を重ねた予算案を基に将来を見据えた町政が執行されていくと思います。

前号で募集しておりました町議会評価提言者については多くの反響があり、議員一同にとつてさらに身の引き締まる思いで、今後も町政に対し町民の声をしっかりと届ける役目を果たしていかなければならないと感じているところです。

国内では首都圏での緊急事態宣言も終わりましたが、今後も感染予防は継続し健やかな生活を送れるようご協力をお願い致します。

(加藤)

編集後記